

【新規】学習動画コンテンツ配信モデル事業

事業の目的

- すべての子どもたちが日常生活の中において、時間や場所を問わず「いつでも、どこでも、自分らしく自ら学ぶ」ことができるようにするために、家庭等において豊富な講義動画を視聴できる環境を整備することを通じて、学習理解のさらなる定着を図る。

概要

- 児童生徒が時間や場所を問わず自分の理解度や進度に応じて、講義動画を視聴し学習理解の定着を図ることができる。
- 児童生徒が理解できるまで繰り返し講義動画を視聴することにより、課題解決の手立てとすることができる。
- 教員が児童生徒の学習履歴を把握し、個別の指導に活かすことができる。

【学校での日々の授業】

予習・復習

学習内容の定着

学習動画コンテンツ

不登校生

【放課後学習等】

【校内支援教室】

【家庭学習等】

学習動画コンテンツの特徴

- 小学生から中学生を対象として、豊富な講義動画（※）を視聴することができる。
- インターネットに接続している機器（パソコンやスマートフォン等）であれば活用することが可能で、時間や場所を問わず学習を進めることができる。
- 課題のある教科や問題を解くための参考とすることはもちろんのこと、予習や復習にも活用することができる。

学習動画コンテンツの規模

目安として、各学年において以下の教科を含むものとする。

- 小学校1～2年生で2教科（国語・算数）、3～6年生で4教科（国語・算数・理科・社会）
- 中学校1～3年生で5教科（国語・数学・理科・社会・英語）

なお、動画の本数については、年間授業週を一定の目安として、各教科1つの学年で30本以上を想定する。（小学校全体で約600本、中学校全体で約450本以上）

事業の実施期間及び実施校

令和6年度～7年度：モデル実施（実証研究）小中学校等49校（小学校24校・中学校24校・学びの多様な学校＜不登校特例校＞）
不登校児童生徒約900人

